

# LAW

## Local Area News

### カーボンニュートラルを学ぶ

高崎機械工業(協)

8月21日、高崎市産業創造館において、2050カーボンニュートラル公認ファシリテーターの黒岩大樹氏を招き研修会を開催した。

黒岩氏は、カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量から吸収量を差し引いた合計がゼロとなる状態で、日本は、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言していると説明。

研修では、カーボンニュートラルの考え方の理解をより深めるため、「カードゲーム2050カーボンニュートラル」を体験。利益を追求することで、CO<sub>2</sub>の排出量が増加し、温暖化による災害が発生、結果的に大きな損失を招く結果になるなど、様々な活動が、地球環境にどのような影響を与えるかを学んだ。



ゲームを通じてカーボンニュートラルの必要性を学ぶ参加者

### 組合PRのためのラジオCMを収録し、放送開始

群馬県室内装飾事業(協)

8月31日、前橋市・FM GUNMAスタジオにおいて、組合員が見守る中、検討を重ね完成した3本のCM原稿の音源収録を行った。この取組み

は、本会のイノベーション伴走支援事業を活用したもので、収録した20秒のCMは、9月7日、エフエム群馬の13時台の番組放送内で第1回目が放送された。

今後、来年3月まで毎週木曜日の同時間帯で放送される予定。



ラジオ局のスタジオでCMを収録

### 冷蔵倉庫等をリプレースし、電気使用量を削減

北関東トゥエンティワン流通事業(協)

本組合は、温度管理が必要なチルド・冷凍商品を共同配送する物流基地として、共同物流センターを運営している。本物流センターは、2003年に運用を開始。計画的に省エネ対策を行う中、昨年12月から本年1月にかけて、冷蔵倉庫の大規模なリプレース(入替え)を行った。倉庫は、24時間温度管理が必要で、電気使用量は、物流センターの運営に大きな影響を及ぼす。今回のリプレースによって、電気使用量は昨年比約26%低減し、昨今の電気料金の高騰に対して、大きな節電効果をあげることができた。

また、今夏は猛暑日が続く、商品を倉庫等で常温保管する事業所では、倉庫内が例年以上に高温となることで、商品の劣化が発生。組合では、温度を一定に保てる「定温倉庫」で、こうした悩みにも応えていきたいと話す。



積載のため冷蔵倉庫に接車するトラック